

RV320およびRV325 VPNルータでのAdvanced Secure Sockets Layer Virtual Private Network(SSL VPN)の設定

目的

セキュアソケットレイヤ(SSL)バーチャルプライベートネットワーク(SSL VPN)ではVPNを設定できますが、クライアントのデバイスにVPNクライアントをインストールする必要はありません。高度なSSL VPNでは、SSL VPNサービスにアクセスできるIPアドレスの範囲を設定できます。SSL VPNのポート番号と表示されるバナーを設定することもできます。

注：SSL VPNの詳細設定を設定するには、まずSSL VPNを有効にする必要があります。SSL VPNを有効にする方法の詳細については、『[RV320およびRV325 VPNルータシリーズの基本的なファイアウォール設定](#)』を参照してください。

このドキュメントの目的は、RV32x VPNルータシリーズで高度なSSL VPNを設定する方法を説明することです。

該当するデバイス

- ・ RV320デュアルWAN VPNルータ
- ・ RV325ギガビットデュアルWAN VPNルータ

[Software Version]

- ・ v1.1.0.09

高度なSSL VPNの設定

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[SSL VPN] > [Advanced Settings]を選択します。[詳細設定]ページが開きます。

Advanced Setting

Assign IP Range For Virtual Passage

Client Address Range Starts:

Client Address Range Ends:

Change SSL VPN Service Port

Service Port: ▼

Banner

Business Name:

Resource Name:

ステップ2:[Client Address Range Starts]フィールドに、SSL VPNにアクセスできるクライアントの範囲の開始IPアドレスを入力します。

ステップ3:[Client Address Range Ends]フィールドに、SSL VPNにアクセスできるクライアントの範囲の終了IPアドレスを入力します。

注：この範囲は、デバイスと同じサブネット上にある必要があります。

Advanced Setting

Assign IP Range For Virtual Passage

Client Address Range Starts:

Client Address Range Ends:

Change SSL VPN Service Port

Service Port: ▼

Banner

Business Name:

Resource Name:

ステップ4:SSL VPNが動作する[Service Port]ドロップダウンリストから適切なポート番号を選択します。

Advanced Setting

Assign IP Range For Virtual Passage

Client Address Range Starts:

Client Address Range Ends:

Change SSL VPN Service Port

Service Port:

Banner

Business Name:

Resource Name:

ステップ5: バナーとして表示するビジネス名フィールドにビジネス名を入力します。

ステップ6:[Resource Name]フィールドに、リソースのバナーとして表示する名前を入力します。リソースは、Word、Excel、PowerPoint、Access、Outlook、Explorer、FrontPage、またはERPなどの標準のMicrosoftターミナルサービスであり、クライアントデバイスに接続されていなくてもクライアントが使用できます。

注: リソースの設定方法の詳細については、『[RV320およびRV325 VPNルーターシリーズのリソース管理](#)』を参照してください。

Advanced Setting

Assign IP Range For Virtual Passage

Client Address Range Starts:

Client Address Range Ends:

Change SSL VPN Service Port

Service Port:

Banner

Business Name:

Resource Name: